

■ ワークショップを終えて



今回も、第1回に引き続き、地域の皆様が多く意見を交換する、たいへん有意義な時間を持つことが出来ました。第2回ということもあり、打ち解けた雰囲気の中でそれぞれのご意見を伝えていただけたのではないかと考えております。

100年後というと人事のように思われるかもしれませんが、今、私たちが話し合っていることは単なる空想ではなく、これからの八帖地区のあり方に実際に反映されていくものです。ここでの話し合いが、きっかけとなり、皆様の考えにより八帖地区が魅力あるまちとなるよう、次回も多くの方にご意見をいただきたいと考えております。

■ 次回のお知らせ

今回は、第2回で考えた「重要度分類」や「景観デザインゲーム」の結果を踏まえ、「効果的な景観づくりの手法やルール」について考えます。

八帖景観ワークショップ

第3回

開催のご案内

■ テーマ

八帖地区がめざす風景(景観)づくり

とき

平成21年12月13日 日

開場 午後1時～

開始 午後1時30分～ 3時間半程度

ところ

諏訪公民館

初めてのご参加も
お待ちしております!

※室内での話し合いを行います。
持ち物などは特に必要ありません。

今回は、
八帖らしさを活かしたまちづくりのため、個人の建築物の意匠形態に、制限をかけていくことについても話し合う予定です。

これからの八帖地区に暮らす若い世代の皆様も、ぜひご意見をお聞かせください!

参加者の皆様、ご協力ありがとうございました!

私たちは、
子供や孫、ひ孫の代の
八帖地区について考えています!

ワークショップの感想

- ・今までは何を考えても不可能としか思えなかったが、まちなみを実際に貼り絵で変えてみると、「いつかは可能」というワクワク感を持てた。ぜひ、今後も皆さんと共にまちづくりをしたいと思います。
- ・堅苦しくなく自由に話のできたので、皆が積極的に発言し、多様な意見が聞けた。
- ・将来を担う人に、もっと参加してもらいたい。
- ・岡崎の歴史あるまちなみの良さを活かし、東海道を訪れる方に対しても恥ずかしくない八帖にしたい。
- ・皆さんのイメージはまとまっているので、どう進めていくか?という話を聞きたい。



■ ワークショップのスケジュール

9月 第1回 八帖地区の風景(景観)の現状について

10月 第2回 八帖地区がめざす風景(景観)づくり

12月 第3回 効果的な風景(景観)づくりの手法

次回

「景観計画」に基づく「景観形成重点地区」の
範囲や景観形成の方針やルールなどに反映

◆ お問い合わせ先 ◆

岡崎市役所 都市整備部 都市計画課
電話:0564-23-6522 FAX:0564-23-6514
メール toshikei@city.okazaki.aichi.jp



八帖景観ワークショップニュース

かいらん

Vol.2 2009年11月
編集・発行 岡崎市
都市整備部 都市計画課

10人の市民が参加し、
カード並べや作業を通して
八帖のめざす風景について意見を交換しました。



景観デザインゲームの様子

八帖景観ワークショップの第2回は、
「八帖地区がめざす風景(景観)づくり」をテーマに
開催されました。

■ 第2回ワークショップの概要

10月25日(日)の午後、第2回八帖景観ワークショップが開催されました。

第2回のワークショップでは、第1回で実施した「まち歩き」で気になった風景(景観)の現状と課題をもとに、「八帖地区がめざす風景づくり」を行うために何が重要なのかということカードを使って考えたり、デザインゲームを通して実際にどんな風景を目指すのかを表現しました。

ワークショップの様子



■ カードを使った重要度分け

八帖地区の100年後の風景(景観)にとって何が一番重要なのか?
様々な風景のイメージを示したカードを使って、皆で話し合いながら考えました。



■ 景観デザインゲーム

八帖地区の100年後はどんな風景(景観)になっているのか?第1回のまち歩きで撮影した写真に、壁や緑などを切り貼り、未来の風景を作成しました。

● スケジュール ●

1. はじめに(あいさつ)
2. 前回のふりかえり
3. 景観形成の重要度分類
 - ・班ごとのカードを使った重要度分け
 - ・重要度集計
4. 100年後の景観をつくってみよう!
 - ・景観デザインゲーム
 - ・デザインの発表と意見交換
5. まとめと振り返り

重要度分類

…八帖地区のまちづくりに大切なことは何かを考えてみました。

第1回のご意見をもとにつくった八帖地区の100年後のイメージを示したカードを、「とても重要」「次に重要」「まあまあ重要」の3つのランクに分ける作業を3～4人1組の合計3組で行いました。

話し合いの後、各班の結果を全体で集計しました。その結果は下の表のとおりです。

集計の結果から、参加者の皆様が重要だと考えていることが見えてきました。例えば、地場産業や東海道の歴史が感じられる風景(景観)づくりは、「八帖には欠かせない」と考えられており、古い建物の保全や、石碑や案内板などの設置は「とても重要」とする意見が多くありました。また、新しく建てる家も、東海道の雰囲気にあったものがよいと考えられています。

一方、ごみ置き場のマナーなど居住者の生活環境の向上に関わることや看板等については、「まちなみが整って住民全体の意識が高まってから…」などの理由で「まあまあ重要」と位置づけられています。

特に重要なものは何か?なぜ重要なのか?熱心に話し合いが行われました。本当に大切なのはこの表の結果というよりも、このように皆で話し合って意見を交換して、少しでも共通の認識を持つことなのかもしれませんね。



重要度分類の結果一覧表

「八帖地区がめざす風景(景観)のイメージ」

	とても重要	次に重要	まあまあ重要
【1】地場産業や八帖の歴史を伝える建物が残されており、人々は手入れをしながら大事に使っています。	●●●		
【2】光圓寺や諏訪神社、地藏堂が大切に残され、みんなに親しまれています。	●●	●	
【3】古くからの地形や区画、通りの形状が残されています。	●●	●	
【4】新しく建築された建物も、東海道の雰囲気にあった格子のある、落ち着いた建物ばかりです。	●	●●	
【5】空地だったところにも、八帖のまちなみにあった建物が並び、駐車場は目立ちません。		●●	●
【6】往還通りや蔵通りは石畳などで東海道の雰囲気が感じられ、観光施設などと一体的ににぎわいを見せています。	●●●		
【7】遺構やまちの由来を示す石碑や案内板などが点在し、まち全体が博物館のようです。	●●●		
【8】まちの中からは、電柱や電線、高圧鉄塔は見えません。	●	●●	
【9】広告や看板は、落ち着いた色などによりまちなみに調和しています。		●	●●
【10】マナーやルールが徹底され、ごみ置き場や野積みされた物品なども目立ちません。			●●●
【11】鉄道の駅舎は、歴史ある八帖にふさわしいデザインとなっています。	●	●●	
【12】まちから堤防に上がると、瓦屋根の向こうに岡崎城が見えます。		●●	●
【13】国道1号沿いの景観も、まちなみとあわせて美しく整えられています。		●●●	
【14】休憩所や喫茶店、居酒屋など人が集うことの出来る場所があります。		●●●	
【15】昔のまちなみを示した地図が看板等で示してあります。	●●	●	
【16】常夜燈や、船着場・土場等が、昔あった位置に復元されています。	●●●		
【17】矢作川や古いまちなみの写真が看板等で示してあります。	●●	●	

3班のご意見の集計(1班分のご意見が1つの●で示されています。)

各イメージの中で最も●の数が多かったイメージに 色の色がついています。
「とても重要」と考える班が多かったイメージ(「とても重要」に●の数が多い)に 色の色がついています。

これがあってこそ八帖!

昔のものと調和していないと…

旧東海道の姿の復元に重要!

住民の意識が高まってから。

にぎわいのある楽しいまちに!

参加者の方が新しく追加された意見

どれも大事だが…

まず、これは残さない!

確かに…

これは重要でしょ?

景観デザインゲーム

…貼り絵で100年後の八帖地区をデザインしてみました。

「重要度分類」で考え方が少し整理できたところで、100年後の八帖地区のイメージをデザインする「景観デザインゲーム」を行いました。

現状の八帖地区の写真の上に、壁や石垣の様々なパターンの紙をはさみで切って貼り付け、各班が思

い描く八帖の風景(景観)を貼り絵で表現しました。

「壁はどのような色がよいか?」「空き地をどうするか?」など、八帖地区らしい風景をイメージして、試行錯誤した結果、素晴らしい「力作」といえる風景が出来上がりました。



思い描いた壁のイメージを切り抜きます。決まった図はのりで貼り付けます。



3班の力作を発表!

看板は少なめに。必要なものだけ!

石畳は雨の日に滑るかな…

道路は落ち着いた色に…

人々が楽しく散歩できるまち

家は蔵風に建てる。

私たちの考えた「八帖地区がめざす風景(景観)」

道路脇は板塀に。

電線は地下へ。

瓦や格子のある家。

マンションは板塀等で隠す。

空き地は公園に。

生垣をつくる。

建物は2階建てまで。